

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年8月1日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	経営学部経営学科
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2024年7月7日
明治大学卒業予定年月	2026年3月
留学先大学について	
留学先国	台湾
留学先大学	国立台北大学(日本語名) 國立台北大學(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	中国語/英語・中国語
留学期間	2023年8月～2024年7月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名:金融&共同管理 現地言語での名称:金融與合作經營系(Finance & Cooperative management) <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1学期:4月上旬～7月下旬 2学期:9月中旬～2月上旬	1学期:9月上旬～1月上旬 2学期:2月中旬～6月下旬 3学期:～ 4学期:～
学生数	7415
創立年	1949

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (台湾元)	日本円	備考
授業料		円	交換留学のため明治大学の授業料
宿舍費	317,00	148,990 円	2 学期分+冬休み
食費	90,000	423,000 円	9000 元/月
図書費	0	円	
学用品費	1,500	7,050 円	教科書
携帯・インターネット費	6,000	28,200 円	SIM カード
現地交通費	8,000	37,600 円	台北市内への交通費(100 元×月 8×10 カ月)(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	10,000	47,000 円	
被服費	0	円	
医療費	0	円	
保険費	7,500	35,250 円	形態:① NTPU Student Safety Insurance NTPU 学生安全保険 375 元 ② Cathy Health Insurance 傷病医療保険 3000 元 (6 か月) ③ National Health Insurance 国民健康保険 1377 元 (月額)
渡航旅費	13,600	64,000 円	日本⇄台湾
ビザ申請費	1,000	4,700 円	
雑費	2,000	9,400 円	実家への荷物輸送送料
その他	6,000	28,200 円	国内旅行交通費
その他	10,000	47,000 円	国内旅行宿泊費
合計	187,300	880,310 円	1 台湾元:4.7 円で計算

渡航関連

渡航経路
往路 出発地: 成田空港 目的地: 桃園国際空港 経由地: なし 復路 出発地: 桃園国際空港 目的地: 成田 経由地: なし
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金: ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:scoot 料金:33,000 復路 航空会社:peach 料金:31,000 ∴合計:64,000
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:expedia) <input type="checkbox"/> その他()
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍等)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:繁星樓) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2 人)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法:
留学先大学からの案内。
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
大学には寮が 4 棟あり、4 人部屋と 2 人部屋がある。留学前にアンケートで生活リズムや衛生観念、現地生との部屋を希望するかなどを聞かれるため、何か要望があれば聞いてくれると思う。私は 2 人部屋で台湾人のルームメイトと住んでいたが、お互いの事を考えて生活していたので、特に問題はなかった。ただ、誰がルームメイトになるかは留学するまでわからないので、他の部屋ではルームメイトに不満があったり、部屋を変えたり、学校周辺のアパートに引っ越す人もいた。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

特になし

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮には各部屋にWiFiがあり、キャンパス内も学校のWiFiが使用可能だった。インターネットが使い放題のSIMカードを使っていたので、特にWiFiは必要なかった。校舎内のWiFiは地下の教室や人が多い教室では低速で使いづらかった。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本の私の銀行口座に送金してもらい、デビットカードを使ってATMから引き出していた。(銀行のキャッシュカードは使用できなかった。) 現地での口座開設は特に必要なかった。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

薬類(現地に売ってない)、衣類(GU、ユニクロなどあるが、日本の方が安い)

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
33 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input checked="" type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった: 所属学部の授業を毎学期最低1つ受講する	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
戦略管理(Stratagy Management)	ストラテジーマネジメント
科目設置学部・研究科	企業管理学部
履修期間	1 学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式、中間・期末はグループワーク&発表(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 180 分が 16 回
担当教授	彭奕農
授業内容	このコースは、不確実性と競争に直面して、経営者がビジネス環境を分析し、競争上の優位性のための戦略を策定し、会社の境界を定義し、長期的な利益を最大化するために使用する必要がある情報、分析、スキル、ビジネス判断に重点を置いています。
試験・課題等	課題は特になし。中間・期末はグループでの発表
感想を自由記入	経営学の企業分析や事業分析のフレームワークを学び、中間・期末でそれらを使いながら、企業を取り上げ、分析した内容を発表する。企業戦略などに興味がある人は楽しめる内容だと思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
国際金融(International Finance)	国際金融
科目設置学部・研究科	金融與合作經營學系
履修期間	1 学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 180 分が 16 回
担当教授	鄭博耕
授業内容	国際金融の基礎知識と分析方法を身につけ、科学的な学習方法を養成すること。
試験・課題等	課題なし。試験 100%
感想を自由記入	講堂のような大教室で講義形式の授業。授業中は生徒は講義を聞くスタイルなので、教室の後ろの方だとスクリーンが見えづらかったりする。テスト範囲が多かったので、友人と協力して対策した。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
商務英語個案研究/ Business Case Studies in English	ビジネスケーススタディ、ビジネスコミュニケーション
科目設置学部・研究科	商務溝通學士微學程
履修期間	1 学期間
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッション、発表(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 16 回
担当教授	陳尹珊
授業内容	To enable course participants to: 1.) develop essential communication skills of leadership, perfect communication skills in negotiations, meetings, and presentations. 2.) to perfect communication skills in negotiations, meetings and presentations. 3.) to deal with crisis creatively and effectively. 4.) to acquire the ability of using appropriate vocabulary or phrases in various business situations
試験・課題等	2 週間に 1 回程度の頻度でグループで小プレゼンテーションあり。 中間、期末ともにグループでのプレゼンテーション
感想を自由記入	授業中は先生の講義の他、周囲の人と取り扱ったビジネスケースなどについて議論するなど、アクティブな授業だった。プレゼンテーションではビジネス的な英語表現が求められるため、フォーマルな英語表現も学ぶことが出来た。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
投資學_Investments	投資学
科目設置学部・研究科	金融與合作經營學系
履修期間	1 学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 180 分が 16 回
担当教授	陳偉銘
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> • Understand different investment alternatives in the market • Understand how securities are traded in the market • Be able to analyze risk and return • Be able to analyze financial statement • Be able to apply buy and sell strategies • Understand the basics in ESG investing
試験・課題等	中間はグループでのレポート、期末はグループプレゼンテーション
感想を自由記入	投資について初歩的な債権や株式についての講義から始まり、公式を使ったリスク分析など実際の企業や、事例を用いながら体系的に学ぶことができる。中間と発表共にグループワークになるので、協力し、知識を補いながら取り組んだ。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
永續都市観光 /Sustainable Urban Tourism	サステナブル都市観光
科目設置学部・研究科	休閒運動管理學系
履修期間	1 学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 180 分が 16 回
担当教授	塔瑪娜
授業内容	<p>This course has an overall objective to enhance understanding about issues and challenges related to impacts of sustainable tourism in contemporary cities and urban areas</p> <ul style="list-style-type: none"> • To obtain knowledge, understanding and ways of thinking of sustainable tourism in urban area; • To understand the history and evolution of sustainable tourism development in cities; • To identify impacts associated with urban tourism development on sustainability and apply intervention strategies to improve current conditions and/or to overcome issues. • To craft systems thinking perceptive in sustainable urban tourism; • To use course content to assess available plans, policies, and approaches being currently used to guide sustainable tourism development in cities; • To craft ability to reflect upon debates in sustainable tourism issues; • To discuss how to achieve optimal results for the local environment, while supporting tourism business growth.
試験・課題等	中間は授業内容に関するテスト(記述式)、期末はグループプレゼンテーション
感想を自由記入	基本的に先生の講義を聞く授業スタイル。SDGsと観光についての関連や実際の取り組みを世界の国々を取り上げながら学ぶことが出来る。期末はインドネシアの都市を自分たちで選び、観光業への取り組みをまとめて発表する。観光について今までサステナブルの観点からあまり考えたことがなかったので興味深かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
中階華語(一)_Intermediate Mandarin	中級中国語
科目設置学部・研究科	創新華語文教學學士學位學程
履修期間	1 学期間
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 240 分が16回
担当教授	翁亞婷
授業内容	1. Master the basic skills of listening, speaking, reading and writing Chinese. 2. Learn about 1,500 common vocabulary words and be able to apply them skillfully in daily life. 3. Learn basic grammar, vocabulary and sentence patterns, with the goal of being able to write simple articles and daily conversations. 4. Establish a basic understanding of Chinese culture, customs and social etiquette, and possess basic cross-cultural communication skills. 5. Establish motivation and interest in learning Chinese through teaching materials and classroom practice
試験・課題等	週一回の単語テスト、中間なし、期末は個人プレゼンテーション
感想を自由記入	中国語の中級レベル。先生がとてもフレンドリーな方で、講義形式だが、先生にいつでも質問が出来るため、自分の知りたい表現や、教科書で扱った台湾についての対話内容の深堀などが出来て、主体的に取り組めば中国語能力と文化理解をのばすことが出来る。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
中階華語(二)_Intermediate Mandarin	中級中国語
科目設置学部・研究科	華語文増能學士微學程
履修期間	1 学期間
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 240 分が 16 回
担当教授	翁亞婷
授業内容	1. Extend students' understanding of Chinese grammar and vocabulary, and enable them to have simple conversations. 2. Able to understand some simple sentences and conversations in daily life, and be able to conduct simple oral communication in Chinese. 3. Extend students' understanding of Chinese culture and further understand Chinese society, economy, politics and other aspects. 4. Improve students' self-learning ability and oral expression ability, and help students communicate better. 5. Cultivate students' learning interests and learning methods, and improve learning efficiency and self-confidence.
試験・課題等	中階華語(一)とセットで受講。週一回の単語テスト、中間なし、期末は個人プレゼンテーション
感想を自由記入	中国語の中級レベル。先生がとてもフレンドリーな方で、講義形式だが、先生にいつでも質問が出来るため、自分の知りたい表現や、教科書で扱った台湾についての対話内容の深堀などが出来て、主体的に取り組めば中国語能力と文化理解をのばすことが出来る。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
法語(一)_French (1)	フランス語
科目設置学部・研究科	国際経貿談判與訴訟人才學分學程
履修期間	1 学期間
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式、対話練習(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 16 回
担当教授	陳秋月
授業内容	1. French pronunciation 2. Basic daily French conversation
試験・課題等	4 週に一回小テストあり、不定期で教科書音読の課題、期末は個人プレゼンテーション
感想を自由記入	留学先大学にフランス人の留学生が多く、フランス語に興味を持ったので受講した。アルファベットの発音から自己紹介、挨拶など基礎的な内容が学べる。期末では中国語でフランスの文化についてプレゼンテーションが出来たので良い経験になった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
国際禮儀與文化 International Etiquette and Culture	国際文化とエチケット
科目設置学部・研究科	文化與觀光學士學分學程
履修期間	1 学期間
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式、ディスカッション(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 16 回
担当教授	藍蕾
授業内容	1. Raise cross-cultural awareness & understand international etiquettes rules 2. Enhance further knowledge of cultural differences around the world 3. Practice international etiquette in both social and business settings 4. Develop an appreciation and understanding of these differences in order to behave properly, avoid gaffes, eliminate embarrassments, and communicate more effectively with others. 5. The course will be conducted by applying instructional strategies including lecture, pair work, and group discussion. 6. Students are required to actively participate in class activities and extra points will be given to those who are willing to do extra work in either teacher assigned or self-initiated learning.
試験・課題等	毎週 2 人 1 組のグループがテーマごとにプレゼンテーション。期末は授業内容のテストとグループプレゼンテーション
感想を自由記入	クラスメイトは台湾人が中心だが、ドイツやマレーシア、香港からの留学生がいたこともあり、各国の文化やエチケットも学べて興味深かった。授業もオープンに発言を求められるので、楽しんで受講できた。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

現在就活中で、マイナビなどを利用してインターンに申し込み、参加している

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

私は現在就職活動中で、7月に帰国したが、5月頃から企業によってはサマーインターンなどの選考が始まるので、留学中に応募していた。私の場合は、授業と並行して、就活をしたり、他の活動に取り組む時間が十分にあった。また現地に4年通っている正規生の日本人の方や日本人の先生などと話す機会があったので、そういった方々から就職の相談に乗ってもらえる可能性もある。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	6月 HSK4級取得
	8月～9月	
	10月～12月	IELTS受験
留学開始年	1月～3月	HSK5級取得
	4月～7月	4月 TOEIC受験 6月 ビザ申請、航空券購入
	8月～9月	留学開始、現地居留ビザ取得
	10月～12月	10月 中間試験 12, 1月 期末試験
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	4月 中間試験 5月 航空券購入 6月 期末試験
	8月～9月	7月 帰国
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

・ はじめに

まず初めに、留学について様々な面でサポートしていただいた明治大学の方々に感謝申し上げます。留学の機会を得て、台湾での生活を経験できたことを嬉しく思います。この報告では、なぜ台湾を選んだのか、そして台湾で何を体験し、学び成長したこと、について書きたいと思います。まず、なぜ留学先として台湾を選んだのかについて話したいと思います。私は明治大学に入学し、第二外国語として中国語を選びました。中国語は話者が多く、中国語を学ぶことで中国語圏の世界を広く理解し、国際的な視野をさらに広げることができると考えたからです。中国語を学ぶうちに、中国語を使える場所で留学したいと思うようになりました。当時は、中国本土か台湾のどちらでも良かったのですが、COVID-19 の影響や、二つの文化や国民性の違い、中国語の違いについて知るうちに、台湾に惹かれるようになりました。

・ 交換留学の準備

前述のように、中国本土と台湾の違いを学び、台湾での留学を目指すようになりました。明治大学には台湾の提携校がいくつかありますが、インターネットで調べたり、明治大学で台湾に留学した先輩たちに話を聞いたりして大学を選びました。特に台北大学を選んだ決め手は、ビジネス関係の学部の評判が良く、日本人学生が少ないことでした。留学の主な目的は、中国語と英語のスキルを向上させることだったので、日本人が少ない環境を選ぶことが重要だと考えました。留学前には主に実用的な英語スキルと基礎的な中国語スキルを身につけるための勉強をしました。具体的には、英語では TOEIC で 800 点を、中国語では HSK で 5 級を目指し、留学前にこれらの目標を達成することができました。また、明治大学の中国人学生が運営するクラブ活動に参加し、中国語を使って練習する機会を得ました。勉強以外の準備としては、ビザなどの必要書類の準備、台湾での生活準備、台北大学での授業選びが含まれました。台北大学のスタッフとメールで連絡を取り合うことで、留学準備をスムーズに進めることができました。

・ 学術体験

次に、約 1 年間で過ごした台北大学での経験について話します。台北大学に来てまず驚いたのは、キャンパスの広さです。緑が多く、湖や芝生など自然が豊かな台北大学のオープンなキャンパスがとても気に入りました。授業については、日本よりもグループで作業をするアクティブな授業が多いと感じました。もちろん、日本にもそういった授業はありますが、机に座って講義を聞き、試験を受けるのではなく、グループで課題に取り組み、試験期間中にプレゼンテーションをするスタイルが多かったです。このような授業スタイルは、学生が自分で考え、自主的に学ぶ機会を増やす点で良いと思いました。また、中国語の授業を通して多くのことを学びました。私の中国語の先生は非常に熱心で、わかりやすく中国語を教えてくださいました。先生は中国語だけでなく、台湾の文化も教えてくださいました。例えば、旧正月の時期には、台湾の子供たちが遊ぶおもちゃや食べ物を紹介してくれ、実際にそれらで遊んだり食べたりすることができました。さらに、台北大学の学生の英語レベルが日本よりも高いと感じました。日本では英語を学べる授業はありますが、英語を使って何かを学ぶ授業は少ないです。英語を使って何かを学ぶには一定の英語能力が必要なので、学生の英語力が非常に高いと感じました。

・ 文化体験

台湾での 2 学期中、学業以外にも多くのことを経験しました。台湾の文化は多くの文化を取り入れて形成されており、日本の文化と似ている部分があれば、異なる部分もあります。自分の国と大きく違う点は、人々がよりフレンドリーであることです。日本では、年齢や地位によって人との接し方や話し方が大きく変わりますが、台湾ではもっと率直に話すことができると感じました。また、日本よりも人々が親しみやすく、すぐに仲良くなれるので、多くの台湾の友人を作ることができました。また、台北大学が主催する日帰り旅行に参加し、福隆や苗栗まで行き、台湾茶の作り方や染色を体験しました。台湾の友人との交流を通じて、様々な台湾文化も体験することができました。例えば、冬至の日には、台湾の友人が家に招いてくれて、団員と呼ばれる甘い団子と一緒に食べました。また、別の友人は、放課後に台湾の学生がゲームセンターやカラオケでどのように遊ぶかを教えてくださいました。週末には台北に行き、友人たちが美味しいレストランを教えてくださいました。街を案内してくれたりしました。また、大学の授業やイベントを通じて、世界中から来た多くの国際的な友人を作ることができました。特に親しくなった国際学生と一緒に台湾各地を旅行し、長い休暇中には台南、高雄、宜蘭などを訪れました。彼らとの交流はとても楽しく、世界中の文化を学ぶことができました。日常生活で困ったことは言語でした。教科書で学んだ中国語とは異なる中国語が実際に使われる場面が多かったです。そのため、台湾に来てから最初の数ヶ月は、わからないことがあるとルームメイトや友人に聞いていました。その結果、日常生活で地元の人々が話すことがわからないことはほとんどありませんでした。

- 個人的な成長

この留学経験を通じて、心身ともに成長したと感じています。能力の面で最大の成長は言語スキルです。留学前には、授業やアルバイトで英語を話す機会 was ありましたが、中国語については教科書で学ぶだけで、会話スキルは全くありませんでした。また、日本の大学で学んだ中国語は簡体字だったため、台湾に来てからは繁体字に慣れる必要がありました。留学を始めたばかりの頃、ルームメイトの中国語が全く理解できず、英語で話しかけていました。しかし、台湾で中国語を学ぶうちに、ルームメイトや友人と日常会話ができるようになりました。さらに、二学期目には中国語で教えるフランス語の授業を受け、その授業で中国語でのプレゼンテーションを行いました。精神的には、失敗を恐れずに挑戦する精神を育むことができたと思います。例えば、中国語は日本人にとって非常に発音が難しい言語だと感じています。台湾での生活の中で、中国語を実際に話そうとしましたが、発音の練習が足りないために理解できないことが多々ありました。それでも、諦めずに自分の問題を見つけて練習することで、徐々に上達していると感じています。また、授業のスタイルが日本よりも自分の意見を表現することが重視されていると感じました。その中で、自分の意見を積極的に表現することを意識していました。また、英語で議論する機会も多く、言語スキルの向上にも繋がりました。最後に

台湾での生活は留学初期に日本で勉強していた中国語があまり通用せず、特に言語面で苦勞しました。しかし、友人や先生、周囲の人々の助けを借りて、交換留学を無事に終えることができたと思います。上述のように、学業面でも生活面でも多くの経験と学びを得ることができました。台湾で得た経験、学び、友人をこれからも大切にしていきたいと思っています。また、中国語をまだ完全に習得していないので、日本に戻った後も勉強を続け、次に台湾に行くときに進歩を友人に見せたいと思います。また、台湾留学を検討している明治大学の学生には台北大学をお勧めしたいと思います。